



資料 1

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会

宇宙開発利用部会（第 101 回）
調査・安全小委員会（第 57 回）

R7.12.23

H3ロケット8号機の打上げ結果について

2025年12月23日
宇宙航空研究開発機構

打上げ概要

■ 打上げ日時

打上げ日：2025年12月22日(月)

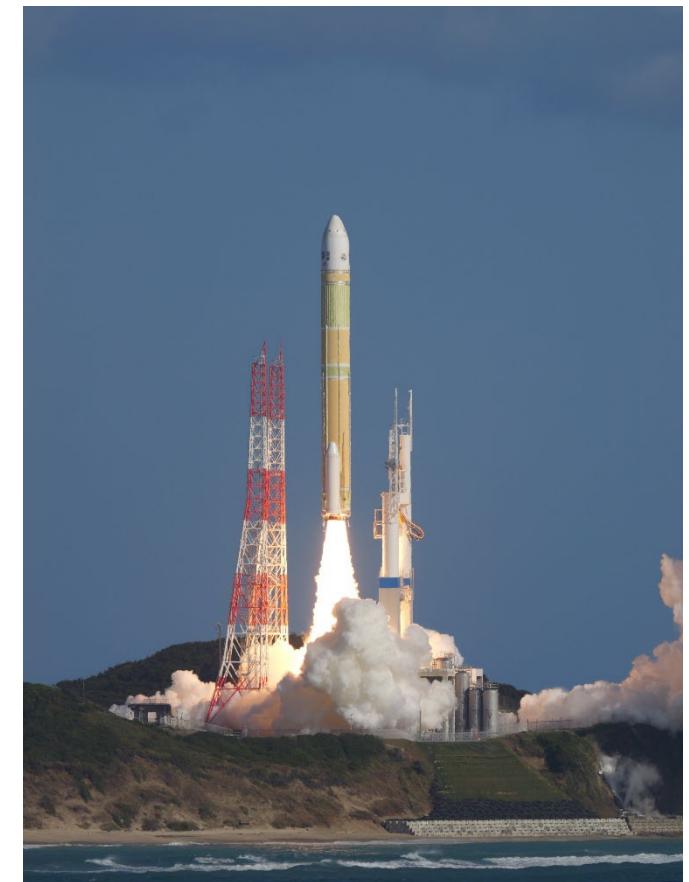
打上げ時刻：10時51分30秒(日本標準時、24時間表記)

打上げ場所：宇宙航空研究開発機構 種子島宇宙センター 大型ロケット発射場

■ 搭載衛星

準天頂衛星システム「みちびき5号機」(QZS-5)

日本で常に天頂付近に1機の衛星が見えることを目的として、複数の軌道面にそれぞれ配置された衛星を組合せて利用する準天頂衛星システム。





主要諸元

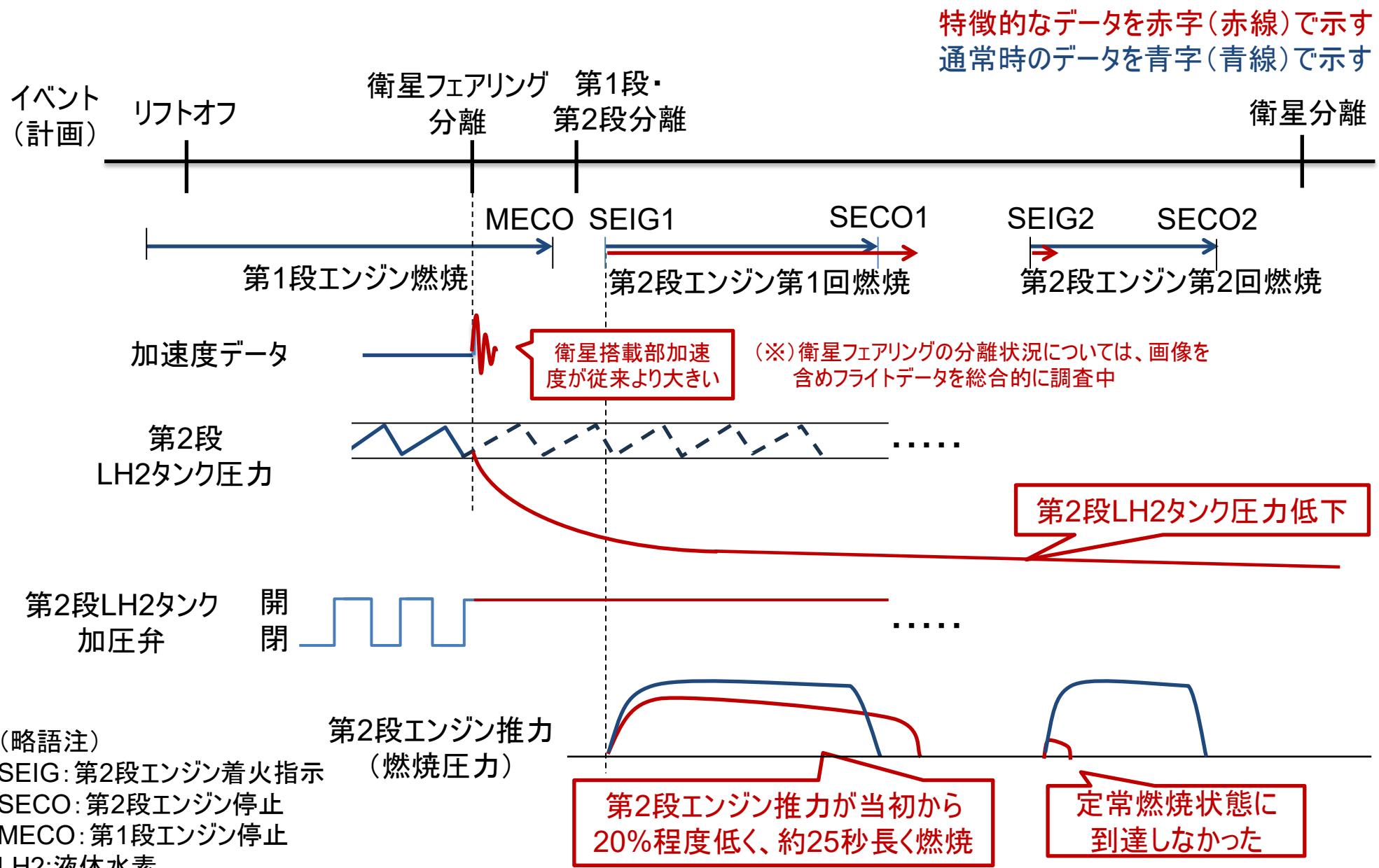
全 段				
名称	H3ロケット8号機 (F8)			
全長 (m)	約57			
全備質量 (t)	約422 (人工衛星の質量は含まず)			
誘導方式	慣性誘導方式			
各 段				
	第1段 (LE-9)	固体ロケットブースタ (SRB-3)	第2段 (LE-5B-3)	衛星フェアリング (ショート)
全長 (m)	約37	約15	約12	約10.4
外径 (m)	約5.2	約2.5	約5.2	約5.2
質量 (t)	約240	約152.4(2本分)	約28	約1.8
推進薬質量 (t) (最大値)	224.5	134.4(2本分)	24.6	—
推力 ^{※1} (kN)	約2942(2基分)	約4600(2本分)	約137	—
燃焼時間 (s)	約300	約110	約694	—
推進薬種類	液体水素／液体酸素	コンポジット推進薬	液体水素／液体酸素	—
推進薬供給方式	ターボポンプ	—	ターボポンプ [°]	—
姿勢制御方式	ジンバル	—	ジンバル ガスジェット装置	—
主要搭載電子装置	誘導制御系機器	—	誘導制御系機器 電波航法機器 テレメータ送信機 指令破壊装置	—

打上げ結果

- 2025年12月22日10時51分30秒(日本標準時)に、H3ロケット8号機を打ち上げた。第2段エンジン第1回燃焼終了時には所定の地球周回軌道に投入した。
- 第2段エンジン第2回燃焼が正常に立ち上がらず早期に停止したことから、予定した軌道に「みちびき5号機」を投入することができず、打上げに失敗した。
- 現在、山川理事長を長とする対策本部を設置し、原因究明を進めている。



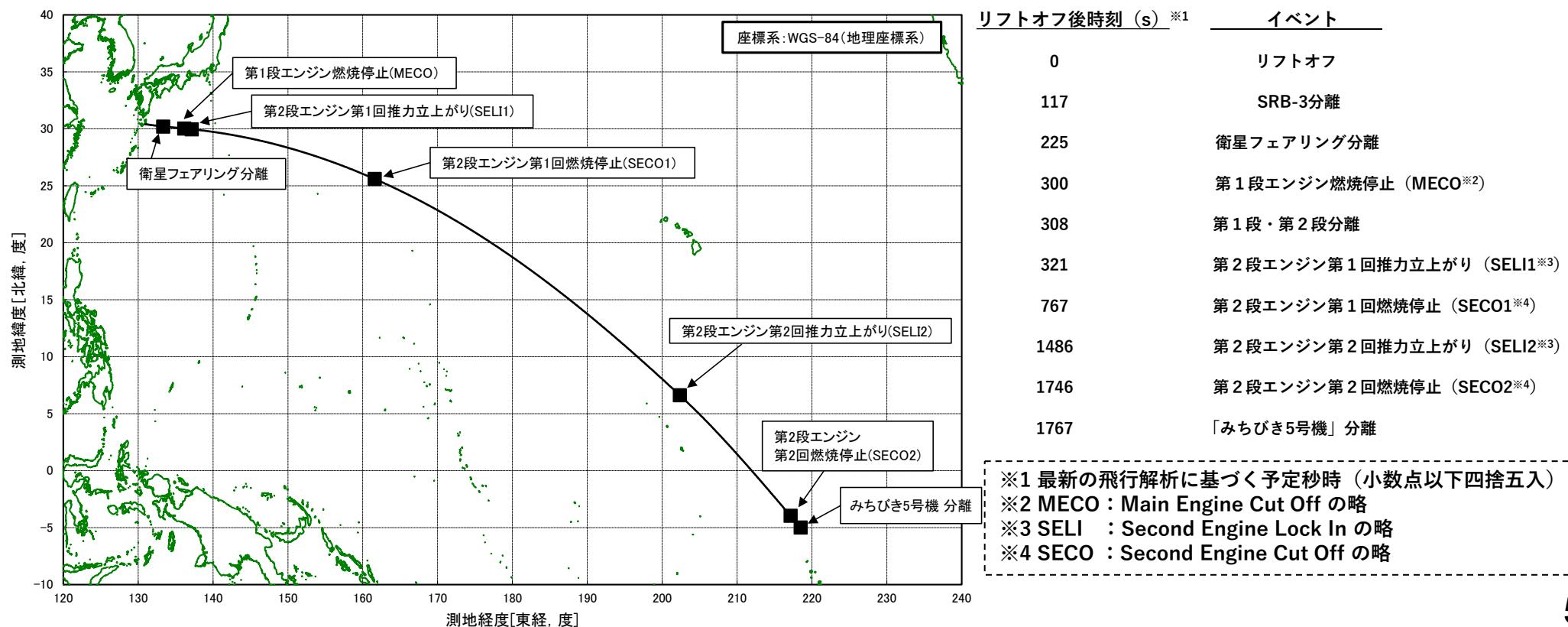
発生事象



H3ロケット8号機の飛行計画

- **準天頂軌道**に「みちびき5号機」を投入する。
- SECO2後に「みちびき5号機」を分離する。
- 第1段エンジン燃焼フェーズにおいて、スロットリングを行う(F3～F5と同様)。

飛行経路(リフトオフ～「みちびき5号機」分離)



(参考)H3ロケットのシステム概要

記者ブリーフィング資料より引用

- 全長: 約 63m (H3-24L)
約 57m (H3-30S, H3-22S)
- コアロケット直径: 約 5.2m
- 固体ロケットブースタ直径: 約 2.5m
- 顧客へのサービス
 - 搭載環境条件: 世界標準以上
 - 受注から打上げまでの所要期間: 世界標準以上
- 打上げ能力
 - SSO(500km円軌道): 4t以上
 - GTO: 6.5t以上

※SSO: 太陽同期軌道、GTO: 静止トランスポンダ軌道

